

# 文化構想学部・文学部の先輩に聞いてみました。 教員免許を取ろうか迷っている新入生の皆さん、 参考にしてください！



Q	どのような人（どのような進路を考えている人）が教職をとっていますか？
A	・私が関わった人の中に“とりあえず教職を取っておこう”という人はほとんどおらず、教員を目指す人が教職を取っていました。
Q	教職をどうやって活用しますか？
A	・教員になるのはもちろんですが、意識の高い友人を作るいい機会にもなると思います。 ・人脈・校友関係を広げるという面でも有効かもしれません。
Q	教職は保険で取っておくべきですか？（やりたいことが他にある場合）
A	・やりたいことが他にある場合、取らなくてもいいと思います。“一応”という気持ちで取れるほど楽なものでないと思うからです。 ・これからの時代、保険になるとも言い切れません。 ・ただ、途中でやめることは出来ますが、途中から始めるのは大変なので、迷っているなら取っておいてもいいのではないでしょうか。
Q	実際に教職を取るのはどれくらい大変ですか？
A	・単位を落す人も多いですが、教職の授業自体はそれほど大変ではありませんでした。あまり興味のない分野の授業などはとっつきにくく、課題も苦労しますが、教職科目の内容は学校・教育・生徒などに関するものなので、とっつきやすく、課題もやりやすかったです。 ・単純に空き時間が減るので（卒業単位に入らない授業を多く取る必要があるので）、アルバイトなどは少々大変でした。
Q	生半可は気持ちでは取らないほうが良いですか？
A	・“教師になりたい”という強い気持ちを持って履修していても、その気持ちが徐々になくなってしまい、やめた人もいます。 ・途中でやめることも出来ますし、他にやりたいことが特になく、なんとなく教師の道も考えているのであれば、とった方が良いと思います。

Q	教職を取っている人はどのように時間割を組みましたか？
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>取るべき科目と自分の理想の時間割を組み合わせて組みました。</li> <li>文キャン（戸山キャンパス）と本キャン（早稲田キャンパス）の教育学部15号館周辺は案外遠いので、前の授業が伸びると間に合いません。また、教職科目は午後に多い印象なので、午前に2外（第二外国語）や文キャン科目、午後に教職とかでいいかもしれません。</li> </ul>
Q	教職は体育も必要ですが、体育はいつ取ると良いですか？
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育は大いに気分転換になるので、そういう時間が欲しい学期に取るのもいいと思います。</li> <li>友達が出来てから友達と体育を取るのも良いですし、体育の授業内でも友達を作ることも出来ます。</li> </ul>
Q	学部の勉強と教職の勉強の両立はどれくらい難しいですか？
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部の授業で期末レポートが重ための科目が複数ある場合は、早めにレポートに取り組んでください。試験と重なると苦しいです。</li> </ul>

教職に必要な単位数は「科目登録の手引き」の後ろのほうの  
**「付録」**に書いてありますが、本当に目指すためには**「教職課程履修の手引き」**が必携です。教職をやってみよう  
 決心した方は、お早目に文学学術院事務所で受け取ってください。

※『教職課程履修の手引き』は以下より PDF 版のダウンロードも可能です。

<https://www.waseda.jp/fedu/tec/students/guide>

( 早稲田大学 教職支援センター > 在学生の方へ > 教職課程履修の手引き )

